

介護施設のカフェ内に

「ホルミシス酸素ルーム」を導入

地域の人の身体の不調を改善して健康促進へ

ホルミシス酸素ルーム導入の経緯

介護事業所を運営するネセサリーは、太田市に看護小規模多機能型施設「利楽式番館」を今年2月に立ち上げたばかり。当施設には地域の人たちが気軽に立ち寄れる場所づくりとして、柳田剛代表がかねてから構想していたカフェが併設されています。キッチンや新ストープの備わる室内は、明るく温かみのある居心地のいい空間。このカフェの一角に、何やら白くて四角い重厚なボックスが堂々と鎮座しています。これこそが今回紹介する「ホルミシス酸素ルーム」です。

「当初はカプセルを導入するつもりでした」と話す柳田代表。自身がホルミシス酸素カプセルを初めて体験した時に「あつ、調子いいかも」と、明らかに身体の疲れが取れた感覚があったそう。放射線ホルミシス効果を実感し、一目ぼれした柳田代表は、地域の人たちが交流できるカフェスペースにはカプセルより

もルームの方がふさわしいと判断。ホルミシス酸素カプセルを開発した、伊勢崎市の梅田製作所にオーダーメイドのホルミシス酸素ルームを依頼したのである。

扉を開けると約1・5畳ほどの空間にテレビやエアコンが完備されています。椅子に座ってもよし、寝転んでもよし、この中でゆったりとくつろぐことができます。場合によっては複数で入ることも可能。さっそくアンカンミンカンの富所さんもルームへ入室してみました。

放射線ホルミシス効果とは

まず、放射線と聞くと人体に有害で危険なイメージがありますが、低線量放射線は免疫力や自然治癒能力の向上が見込まれ、体に有益な作用をもたらします。この作用が放射線ホルミシス効果なのです。放射線ホルミシス療法としては、すでに秋田県の玉川温泉岩盤浴などで知られていますが、ホルミシスルームの場合、天然ラジウム鉱



体験者
アンカンミンカン
富所哲平さん

石から発生するラドンガスと高濃度酸素をルーム内に循環させ、低線量放射線を効率よく体内に取り入れることで、玉川温泉岩盤浴と同様の効果が得られます。

すでに治療の実績がある病気としては、関節リウマチ、脊椎炎、腰痛、神経痛、関節炎、喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー皮膚炎などがあり、さらにガンの再発の抑制、各種肝炎、アルツハイマー、パーキンソン病、糖尿病などへの効果が予測されるなど、さまざまな病気の治療や老化、美容への働きかけが期待できるそうです。

地域の人の健康促進に役立てたい

ホルミシス酸素ルームを体感した富所さんは「もともと健康だから、入る前と後の違いは正直わからないけれど、空間が広いぶんリラックスできます。家族の健康のためにも一家に一台これがあったら素敵ですよ。家を建てる前にこの情報を教えてほしかった」と悔しそう。

現在は、新型コロナウイルスの影響で、カフェの営業を自粛している状況ですが、コロナが落ち着くまでの期間は、福利厚生として社員にホルミシス酸素ルームを利用してもらい、疲労回復や免疫力の向上に努め、コロナに負けない体づくりに役立てているとのこと。

柳田代表はホルミシス酸素ルームの入室を継続しているうちに、持病の偏頭痛や喘息の症状が改善されたそう。「ガンやリウマチ、糖尿病など健康に不安を抱えている地域の人たちに、少しでもお役に立てたら」と語ってくれました。



ラドン吸引器

HHP太田足利
㈱ネセサリー利楽式番館内

太田市高瀬町211-1

tel.0284-70-8000